

# ハワイ・ホノルル市における歩きスマホ禁止条例の効果

○徳田克己<sup>1</sup>・水野智美<sup>1</sup>・西館有沙<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>筑波大学医学医療系・<sup>2</sup>富山大学人間発達科学部)

キーワード：歩きスマホ 禁止条例 ホノルル

The Effect of the Distracted Walking Law in Honolulu City, Hawaii

Katsumi TOKUDA<sup>1</sup>, Tomomi MIZUNO<sup>1</sup> and Arisa NISHIDATE<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>University of Tsukuba, <sup>2</sup>University of Toyama)

Key Words : Distracted Walking Law texting while walking Honolulu

## 目的

我々は2007年より、世界における歩きスマホの実態、歩きスマホ防止のための啓発や教育のプログラム開発、ポケモンGOが歩きスマホの実態に与えた影響等を詳細に検討してきた(MIZUNO et al.,2017 など)。

米ハワイ州のホノルル市で2017年10月に道路横断中に携帯電話などの画面を見ながらメールを送るなどの行為を禁止するDistracted Walking Law(注意散漫歩行条例)が施行された。最高99ドルの罰金が科されるものである。現時点において日本にはこのような罰則制度はない。しかし日本においても歩きスマホの危険性が指摘されており、禁止のための条例化の必要性がしばしば議論されている。

本研究では、ホノルル市ワイキキ地区の横断歩道における歩きスマホの実態を実地調査し、その結果を禁止条例のない日本の横断歩道の状況と比較することによって、禁止条例の効果を明らかにしたい。

## 方法

### 1. ホノルル市における調査

2018年3月4日11:30~12:30に、ワイキキ地区インターナショナルプレイス前の横断歩道において、道路を横断した人の総数、道路横断中の歩きスマホ者の数、歩行者用信号が赤で待っている人の中でスマホを操作した人や歩きながら横断歩道に近づいてくる人の中で渡る直前までスマホを操作していた人の数、そのうち横断中にスマホをポケットやカバンにしまった人の数を、調査者2名が計数した。

### 2. JR 恵比寿駅前における調査

2018年3月12日13:30~14:30に、JR 恵比寿駅西口の駅前の横断歩道において、ホノルルと同様の項目について調査者2名が計数した。

## 結果

調査結果を表1に示した。表には、横断者総数(計測した時間に道路を横断した人の合計数)、横断中の歩きスマホ者数(タブレット、ゲーム機を含む)、横断直前のスマホ操作者数(歩行者用信号が赤で待っている人の中でスマホを操作した人や歩きながら横断歩道に近づいてくる人の中で渡る直前までスマホを操作していた人の数)、横断時にバッグなどにスマホをしまった人の数、スマホを手を持って操作をせず横断した人の数を割合とともに表示した。

この表から以下のことが確認できる。

1. 道路横断時の歩きスマホ者の割合において、ワイキキ(4.0%)と恵比寿駅前(12.4%)では大きな差があった。ワイキキ周辺を歩いている人の大半は旅行者であり、日本人は非常に多い。MIZUNO & TOKUDA(2016)らは、国・地域によって歩きスマホの割合が異なることに言及しているが、いくつか

の研究から日本人は他の国・地域に比べて歩きスマホ者が多いことが確かめられている。しかし、今回の2つの調査地では日本人の割合が非常に高かったことから、2つの調査地の数値の差は歩きスマホ禁止条例が影響しているとみることが適切であろう。

- ワイキキで日本人旅行者十数名に「ホノルルでは歩きスマホ禁止条例が施行されているが、そのことを知っていたか」と尋ねたところ、ツアー利用者は全員がそのことを知っており、横断時にはスマホを見ないように気をつけていると答えた。また歩きスマホをしていた日本人数名と同様の内容を尋ねたところ、全員がツアーを利用していない個人旅行者であり、その条例があることを知らなかったと答えた。
- 横断直前のスマホ操作者数がワイキキでは横断者総数の8.5%、恵比寿駅前では14.6%であり、明確な差があった。これらの直前操作者が横断時に歩きスマホをしてしまう割合はワイキキでは47.3%であったが、恵比寿駅前では84.9%と非常に高率であった。日本では信号待ちでスマホ操作をしている人の8割以上が道路横断時にも歩きスマホをしてしまっているのである。ただし、ワイキキでも約半数が横断時に歩きスマホをしており、この点において条例の効果を確認することはできない。
- 歩きスマホ禁止条例の効果を強く確認できたのは、横断時にバッグやポケットにスマホをしまった人がワイキキでは直前操作者の35.1%であった一方で、恵比寿駅前では5.9%のみであった点である。ワイキキでは自転車に乗った警察官が見回っているが、横断時にスマホを手を持っていると「誤解」される可能性があることから、スマホを手から離してポケットやバッグにしまっていると推察できる。

表1. ワイキキと恵比寿駅前の歩きスマホの調査結果

	ワイキキ	JR 恵比寿駅前
横断者総数	872名	2090名
横断中の歩きスマホ者数	35名 総数の4.0%	259名 総数の12.4%
横断直前のスマホ操作者数	74名 総数の8.5%	305名 総数の14.6%
横断中もスマホを操作した人	直前操作者の47.3%	直前操作者の84.9%
横断時にバッグなどにスマホをしまった人	26名 直前操作者の35.1%	18名 直前操作者の5.9%
スマホを手を持って横断した人(無操作)	13名 直前操作者の17.6%	28名 直前操作者の9.2%